



家庭倫理の会は「よくする活動」を推進しています
家庭を、地域を、日本を、地球をよくする 活動を推進しています

新年度に向けて 家庭倫理の会中野区 会長 村田 守

会員の皆様には日頃大変ご尽力を賜り誠にありがとうございます。

先日9月4日に23年度の辞令を拝受いたしまして、新たに気持ち引締まる思いが致しました。今年は2年目になります、前年は皆様にご協力を頂き何事も無いような状況で終わりました。今年は11月に「新宿区」が分封独立「準家庭倫理の会新宿区」として設立いたします、そんな節目の年でもあります。



来年4月に倫理講演会、5月に富士研修と行事もあります、生涯の勉強と又実践を高める良い機会です、是非高い目標を掲げ達成していただき、おはよう倫理塾にて発表できますようお願いいたします。

又、前年は親睦的な集まりがございましたが、今年は普及を目的としました、企画会、躍進会などを計画しまして、達成する目的の決起大会や反省を込めたミーティングを適度に行い、明日への活力源にしたいと思っています。

24年度も会員、世帯、雑誌数の増加目標がございますが、「喜んで取り組み」是非達成をしていただきますように宜しくお願い申し上げます。

9月4日(土) 辞令交付式

於ホテルイースト東京

青い空にスカイツリーが見えた。ラッキー。素晴らしい天気だな。大雨でなくて良かった。と言い合って、ホテルへの道を少しでも影のところ、冷たい飲み物が買えるコンビニも気にしながら歩いた。

ホテルの会場は東京都下の家庭倫理の会が集まって熱気でムンムン。最初に松枝首都圏管区長の挨拶。その後、辞令交付。各家庭倫理の会の名が呼び出された時、会の全員が起立する。会長が代表として登壇。辞令を頂く。そして今年度の普及目標を述べ、スローガンを3回、会の全員で唱和する。事前に練習がなかったので、ドキドキであったが我が中野区は一発勝負で、見事にそろった。厳粛な式のなかにも、徳江研究員のユーモア溢れるコメントもあり、あっという間の1時間半であった。

その後、引き続き徳江研究員の役職者研修があった。まず、辞令は額に入れて掛けましょう。

一日一日真心で辞令を拝し、言葉に出して挨拶をする。必ず呼べば答えてくれる。

辞令の向こうには何があるか？壁ではありません。辞令は境界線で丸山敏秋理事長から創始者の魂へ、大宇宙生命へと繋がっている。と力強く語られた。

役に徹して進むと今まで気が付かなかった自分の発見がある。

自己革新ができると信じて、この一年(辞令の効力は一年のみ)

励んでいきたい。

(桐山)



準家庭倫理の会新宿区発足式式典並びに祝宴

平成22年11月7日(日)11時30分～ 於ビッグボックス高田馬場9階「粹なもん」

問い合わせ先 070-5571-2566(田辺)

新年度にあたって...決意発表！

北支部長 伊倉 功

普及目標は、世帯数 189 世帯、会員数 247 名、新世数 1267 冊です。

普及拡大重点地域は、沼袋、新井薬師です。普及拡大活動を図ります。

目標に向かって、まず最初に支部内の連帯強化を前進させ、内部充実を目指します。

各会員の挨拶から始まる会話を大切にして、会員に中野区スローガンの「理想は高く、信念は強く、明日に希望をもって会の繁栄を誓う」ことを浸透させていきます。朝起きは、健康な体、家族の暖かい支援、老若男女チームワークが不可欠です。年中行事を行う中で、楽しく実践できるように、地域に溶け込んで活動をしていきます。

新年度にあたって

南支部長 野口 泰子

支部長のお役を頂き、毎朝一番のりをめざして、会場の鍵をあげさせて頂き、私の一日がスタートします。

生来ワガママな私が、どれほどの自己変革ができていのかと自問しながらの日々ですが、そのような時に思い出す言葉は「人生は螺旋型に展開する」山あり谷ありの人生。堂々巡りのようでも螺旋階段を横から見れば、実は上昇していると学ばせて頂き、また頑張る力が出てきます。歩みののろい私ですが、この道を迷うことなく一步一步努力して進んでいきたいと思えます。支部長のお役も今年で3年目になります。今年度最後のつもりで、皆さまと心を合わせ、会の目標、自己目標をめざして精一杯実践させて頂きます。

9月13日 西新宿支部・高田馬場支部のつどい

神田選抜副参事をお迎えしておこなわれた。

衝撃的なお話だった。

先生は3人の子を道連れにして、死のうと思ったことがあるという。姑さんと折り合いが悪くて、長男は肺結核、次男は栄養失調、三男は風邪の菌が脳にまわって狂っていた。ご主人も気弱。姑さんから、子どもを病院に連れて行くお金ももらえず、ある日、線路に飛び込んで死のうとした。ところがその時、いるはずのない実の母親が現れて、神田先生の前に立ちふさがった。それは幻影だった。とぼとぼと帰る道の端に、幸せになれる、という朝の集いの看板が立っていた。先生は翌朝から、朝の集いに行くようになった。

ある日、生活指導を受けた。姑さんと仲良くすれば、子どもの病気が治ると言われて、釈然としなかったが、ふと姑さんにあやまってみようという気持ちになって実行した。そうしたら「おまえさんは悪くない。悪いのは私だ。これからは仲良くしよう」という、思いがけない言葉が返ってきた。その後は3人の子どもの病気がすっかり治り、幸せな家庭になった、という。神田先生は、いろいろな体験をお持ちだ。

葬儀をいいかげんにしてはいけない、という実体験も伺った。他にもいろいろとお話を伺ってみたい。 (早川 敦子)



リベンジ、神田ヨシ選抜副参事 倫理のつどい！

台風で、中止となり、野口支部長は一度決めたのに中止とは、破約失福にならないかというスッキリしない思いと「残念だわ、神田先生のお話が聴きたかった」という会員の声に背中を押されての再チャレンジ。支部主催は初めてでしたが皆が気持ち良く支部長を手伝って、南支部全員で作り上げた温かな集いとなった。感想&心に残った言葉

* 歳、頭でなく心だ * この会はお話を聴く会ではなく実践する会だ * 不足不満をこぼすと身体をこわす

* 心の勉強。頭の勉強でない * 人や家族が喜ぶ実践します。

* すべてを受け容れてくれる感じの先生。パワーがあり85歳には見えない。素晴らしく老いたい。少しでも自分も近づきたい。先生から頂いたパワーは計り知れない。 (桐山)